

# 実践講座 2 地域資料のデジタルアーカイブ化講座

③

## みんなで作る 地域学習デジタルアーカイブ

---

ー学校図書館「学習センター」の視点からー

受講生 西浦 富美子



# 本日の流れ

1. 研究の背景と課題
2. 先行研究・先行事例
3. 方法

# 1. 研究の背景と課題

- ・学校図書館の困りごと
- ・地域副読本の変遷と課題

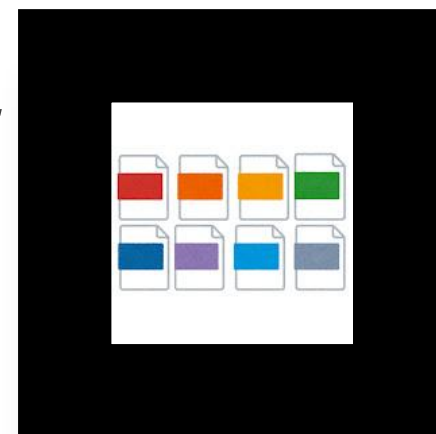
# 1-0 学校図書館の困りごと

## ■ 「地域学習コーナー」の充実が困難

▷ 資料の種類・量 … 小中学生対象の資料が少ない

▷ 資料の保存 … パンフレットなどの散逸

▷ 資料の活用 … 成果物のファイル  
閲覧しづらい



## ■ 「地域副読本」頼みから、デジタルアーカイブ作成・活用へ

# 1-1 地域副読本について\*1

- ◆ 「社会科副読本」とも呼ばれる
- ◆ 市区町村の教育委員会や社会科教育研究会によって編集・発行されるもの
- ◆ 小学校中学年の社会科で身近な地域を学習するときの主たる教材
- ◆ 学校教育法第34条④  
「教科用図書以外の図書その他の教材で、有益適切なものは、これを使用することができる。」

# 1-2 地域副読本の変遷

1953

- 『わたくしたちの港区』\*2

1960~  
80

- 郷土学習から地域学習への転換

1999~

- 教科書準拠型、授業過程再現方式

2011~

- 暮らし、環境・災害に関する記述、ESD

★ 「地域の歴史」が削減される傾向

# 1-3 地域副読本の課題

## ■ 「地域」の広域化\*1

平成の大合併、学校の統廃合（特に過疎地）→ 直接体験の減少・喪失

## ■ 「内容知」の可視化・構造化・デジタル化\*3\*4

→「読んで理解させる副読本」「豊富な写真資料等を見せて間接体験で済ませる副読本」

## ■ 「編著者」と外部連携？ \*5

編著者は、教員社会科研究部会・社会科副読本編纂委員会・教育委員会

→ 副読本のデジタル化において、産学連携や業者委託はどの範囲か？

## 2. 先行研究・先行事例

- ・地域を調べる方法とツール



## 2-1 「飛騨一之宮ものがたり」(高山市)

### ◆ 久世均、齋藤陽子 (2014) \*6

「デジタル副読本を活用した児童一人ひとりの特性に応じた授業実践：自治体と連携した地域素材を活用した学習材の開発」

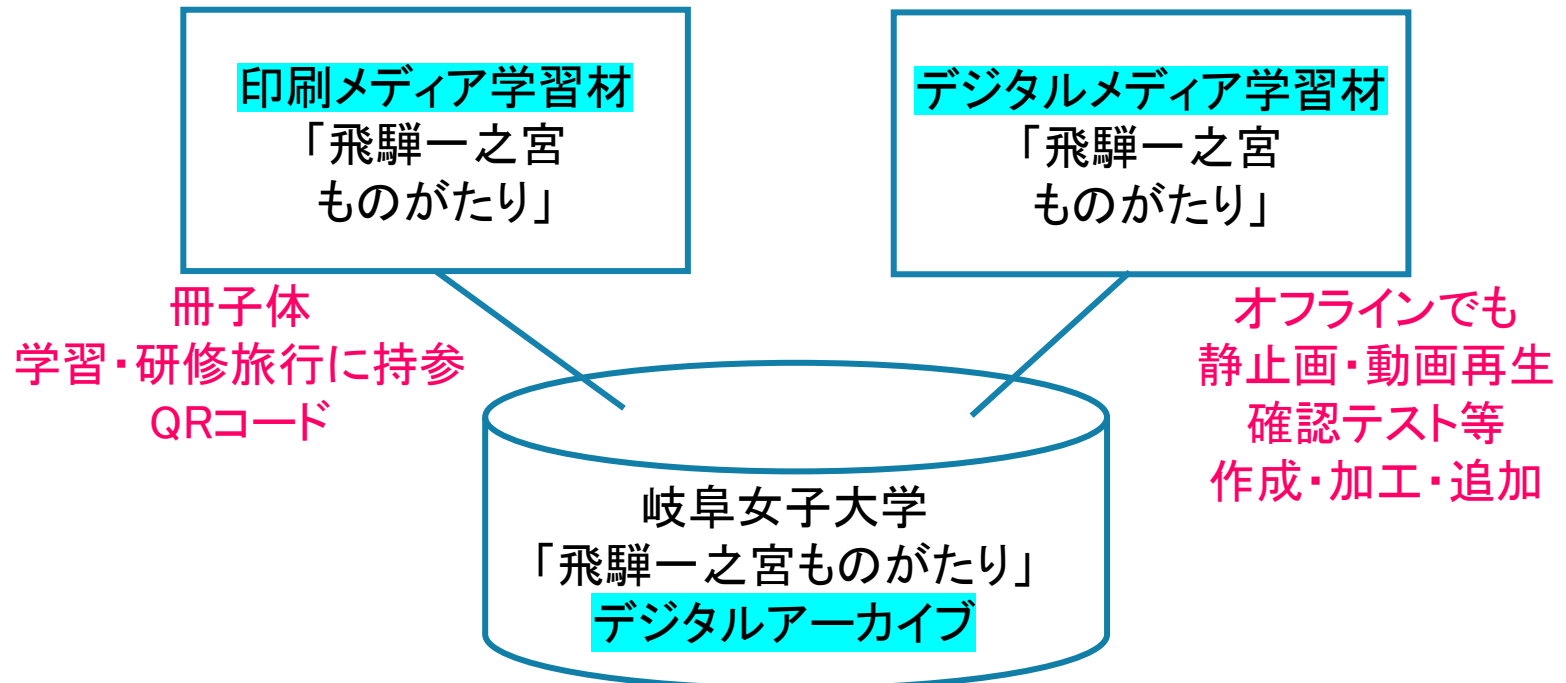


図1 「飛騨一之宮ものがたり」の構造(参照)

## 2-1 「飛騨一之宮ものがたり」(高山市)

### ◆ 久世均、齋藤陽子 (2018) \*6

図6 WEB版「飛騨一之宮ものがたり」  
デジタルアーカイブ/トップページ

〈<https://miyamachikyo.jp/monogatari/index.html>〉

#### 「はじめに」より引用

飛騨一之宮は、この地域に  
名高い位山の麓に広がり、  
水・木・道・祈りなどをくらしの  
より所としながら、  
豊かに里の歴史を積み重ね  
てきました。

#### 論文より引用

飛騨一之宮の情報は主に地域の方たち  
におけるデジタルアーカイブ事業で収集した。  
デジタルの特性を生かすということや、  
社会全体で子どもの教育にたずさわると  
いう考えからも、既に公開されている  
情報の収集にも地域と協働して  
デジタルアーカイブすることが重要  
であると考えている。

出典：<https://miyamachikyo.jp/monogatari/index.html>



飛騨一之宮ものがたり  
タイトルにある「ものがたり」ですが、これは「おはなし」という意味のほかに、フランスの言葉で「歴史」という意味も込められています。これから皆さんは、飛騨一之宮でいろいろなことを体験をするでしょう。そのものがたりの一つひとつは、飛騨一之宮の歴史になります。いままでの飛騨一之宮のものがたりを知り、それが糧とな

## 2-2 デジタル地域副読本

### ◆『私たちの中標津』（2014発行、2018改訂）

[https://www.nakashibetsu.jp/db\\_fukudoku/](https://www.nakashibetsu.jp/db_fukudoku/)

### ◆『のびゆく恵庭』（2020発行、14訂版）

[https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/kyouikuiinkaikyoubu/kyoikusomuka/gakko\\_kyoiku/2\\_1/9805.html](https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/kyouikuiinkaikyoubu/kyoikusomuka/gakko_kyoiku/2_1/9805.html)

### ◆『わたしたちの南アルプス市』（2021年版）

<https://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/docs/2251.html>

※巻末などに紹介されている地域資料に注目する→各地域の編著者の参考になる

※編著者、産学連携の公開を望む→編著や連携のスキルなどが教員間で継承されるように

## 2-3 「たんご百科事典」(京丹後市)

### ◆ edit Tango (2018~)

<https://edit-tango.webnode.jp/>

- 高等学校学校司書がウィキペディアタウンの活動を通じて、ウィキペディアンや地域の人々と連携し、「地域の価値ある歴史や文化や人々の営みを伝え残す」「地域情報を現代に生きる私たちの営みに活かす」ことを目的に活動するボランティアグループ
- 「**調査・執筆ガイド**」 ▷ 文献調査 / Wikipedia編集

学び方の支援がある

出典：<https://edit-tango.webnode.jp/>



たんご百科事典 ▾ / ABOUT US ▾ / 参加者レポート / **調査・執筆ガイド ▾** / リンク集

たくさんの小さな点（人）から発信（発進）する

## edit Tango とは



ロゴデザイン©廣瀬啓子

この「たんご百科事典」プロジェクトは、丹後地方の一地域の古老の記憶や、図書館の郷土資料室などの限られた場所にしかない情報を収集し、だれもがかんたんに検索して知ることができるオンライン上に公開することで、このままでは忘れ去られてしまうかもしれない地域の価値ある歴史や文化や人々の営みを伝え遺すとともに、そうした地域情報を現代に生きる私達の営みに、だれもが自由に活用できるようにすることをめざすボランティアグループ・edit Tangoの取組です。

「たくさんの小さな点（人）から発信（発進）する。」

edit Tangoのロゴデザインには、多くの一般人ボランティアによって進められているこのプロジェクトが、ひとりひとりの知識や視野や力は限られていても、人々がつながり協力しあうことで、この社会の情報を網羅できる可能性を表現しています。

出典：

<https://edit-tango.webnode.jp/>

地図を調べる

以下については、「たんご百科事典」の各項目にお役立ちWebサイトをリンクしています。



「たんご百科事典」各項目に使用している画像の多くはWikimedia Commonsまたはジャパンサーチにて高画質版を提供されており、当Webサイトからの提供は、そのCCライセンスに準じます。

Wikimedia Commonsに掲出していない画像は、特に注記したものを除きCC-BY-SA4.0にて、文章はCC 0にて提供しています。

©edit Tango

Powered by [Webnode](#)

このサイトはWebnodeで作成されました。あなたも無料で自分で作成してみませんか？

さあ、はじめよう

出典：<https://edit-tango.webnode.jp/>

地図を使う

# 地図情報サイト

二次利用にあたっては、それぞれのWebサイトの規約をご確認ください。



## Open Street Map

オンライン百科事典Wikipediaと同じように、一般のボランティアによって作成され、CC-BY-SAで提供されるオンライン地図サイト。



## Strory

イラスト地図や古地図など、紙の地図に位置情報を入れて実際の地図として使えるようにデジタル化する企業システム。

一定の条件で自由に作成できる。

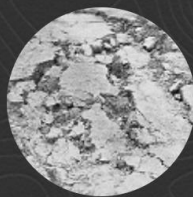


## 地理院地図

国土地理院が提供する地図情報データベース。二次利用は、自由に利用できるもの、申請が要るものなど、地図の種類による。



## 地理空間情報ライブラリ



## 地質図Navi



## Google Earth



## 2-4 「マチアルキ」

### ◆ 東京書籍の学習支援アプリ

<https://www.machiaruki.jp/>

\*7 マチアルキはAR（拡張現実）を使って情報発信ができる新しいツールです。場所（施設や史跡）や画像（プリントや看板）など、現実に存在しているものに直接情報を加えて発信することができます。

つくる → 登録する → 発信する

簡易  
見通しがつく

## 3. 方法

- ・デジタルアーカイブ全体の概略
- ・地域副読本「アーカイブ資料集」作成案

# 3-1 デジタルアーカイブ全体の概略

## ◆ 『みんなで作る地域学習アーカイブ』

- ・基本：将来的に学校図書館運営の地域学習サイト
- ・対象：地域学習に取り組む児童生徒、職員
- ・目的：主体的・対話的で持続的な地域学習
- ・構成：資料・学び方・活動
- ・分類：土地と気候・水・木・道・祈り・暮らし
- ・メタデータ：教育委員会コードを利用 <https://edu-data.jp/eb>

## 3-2 デジタルアーカイブ全体の略図

### ◆ 『みんなでつくる○○地域学習アーカイブ』



## 3-3 地域副読本「アーカイブ資料集」作成案

- ◆ 地域副読本に掲載されているアーカイブ資料の収集
- ◆ 目的：各地域の歴史的資料の活かし方を知る
- ◆ 方法：人海戦術調査（学校司書・学生・生徒など）
- ◆ 例：『わたしたちの京都』下  
「きょうどをひらく1 用水のけんせつ」  
琵琶湖疎水工事の絵などのアーカイブ資料から  
用水建設の背景や技術に対する理解が深まる
  - ・田村宗立『琵琶湖疎水工事図巻』
  - ・河井小龍『琵琶湖疎水図誌』

## ◆『わたしたちの京都』下

### 「きょうどをひらく 1 用水のけんせつ」関連資料

#### メタデータ付与例

ID	分類	番号	副読本名	資料名	備考	西暦	所蔵	URL
262100	水	1	わたしたちの京都 (下)	〔都が東京にうつるときの様子〕	〔東京奠都〕	〔1869〕	品川区立品川歴史館	
262100	水	2	わたしたちの京都 (下)	パンフレット「琵琶湖疎水」 ～描かれた疎水工事	疎水工事絵画 田村宗立	1885 - 1887	京都市 上下水道局	<a href="https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/book_cmsfile/s/1021/book.html">https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/book_cmsfile/s/1021/book.html</a>
262100	水	3	わたしたちの京都 (下)	パンフレット「琵琶湖疎水」 ～描かれた疎水工事	疎水工事絵画 田村宗立	1885 - 1887	京都市 上下水道局	削除〔2018年8月参照〕
262100	水	4	わたしたちの京都 (下)	琵琶湖疎水圖誌 3巻	疎水工事絵画 河井小龍	〔1890〕	京都府立京都学・歴史館	<a href="http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/detail?cls=152_old_books_catalog&amp;pkey=0000000098">http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/detail?cls=152_old_books_catalog&amp;pkey=0000000098</a>
262100	水	5	わたしたちの京都 (下)	〔疎水の完成を祝う〕	祇園祭の鉾	〔1869〕	京都府立京都学・歴史館	

ID	分類	番号	副読本名	資料名	備考	西暦	所蔵	URL
262100	水	2	わたしたちの京都(下)	パンフレット「琵琶湖疎水」～描かれた疎水工事	疎水工事絵画 田村宗立	1885 – 1887	京都市 上下水道局	<a href="https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/book_cmsfiles/1021/book.html">https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/book_cmsfiles/1021/book.html</a>



描かれた  
Illustrated Canal Construction Work  
疎水工事

鮮やかに遺された工事の記憶



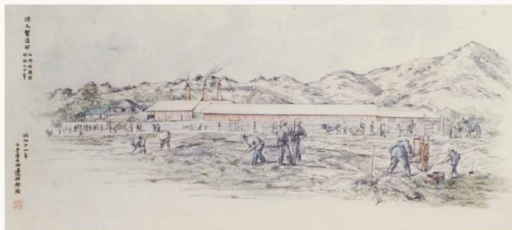
工事の様子を描いた絵画としては、京都府が画家の河田小龍、田村宗立に描かせた絵画が多数残っています。ここに掲載した絵画は田村宗立が描いたもの(『琵琶湖疎水工事図巻』)で、京都市上下水道局が所蔵しています。



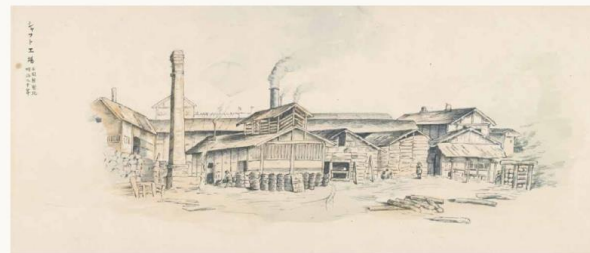
◆新案足踏揚水機 大津三保ヶ崎(明治19年)  
後方の地面の高さからみて、大津の取入口付近と考えられます。堅坑やトンネル排水も含めて、工事初期はポンプを用いず人力に頼りました。



◆長等山隧道 導坑掘鑿(明治19年)  
ダイナマイトを仕掛ける穴は、画のようにノミと金槌であけました。一時ボーリング機械を用いましたが、使いにくいということで、結局最後まで人力で進めました。



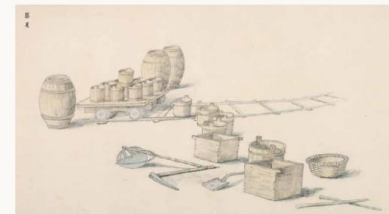
◆煉瓦製造所 山科御陵村(明治20年)  
疎水工事に必要なレンガの数量が膨大であったため、直営の工場をつくり、原料の土も付近から採取してレンガを焼きました。煙突は後に8本に増えました。



◆シャフト工場 古閑越堅坑(明治20年)  
煙突は、ポンプや送風機を動かす蒸気機関のためのものと思われまます。堅坑は、上部の直径が5.4m、トンネル縁付近では約3mあり、この堅坑1本で、人の出入りはもちろん、材料の搬入・土砂の搬出を行いました。



◆シャフト工場 人力巻揚(明治18年)  
掘鑿開始当初の堅坑上部の様子です。左に堅坑が見えますが、人の出入りや水の汲出しは中央の巨大な人力巻揚機で動かし、湧水の多いときは、昼夜を問わず稼働させました。



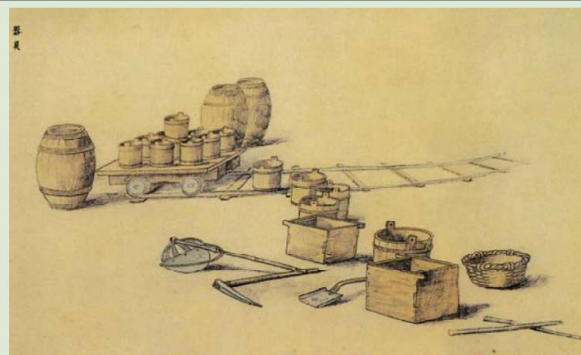
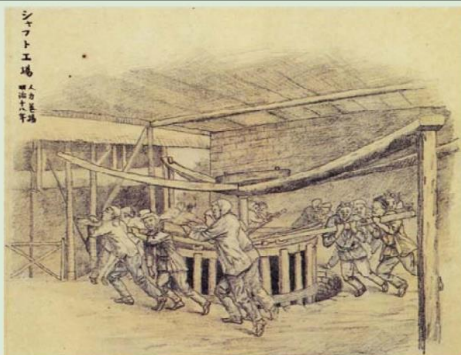
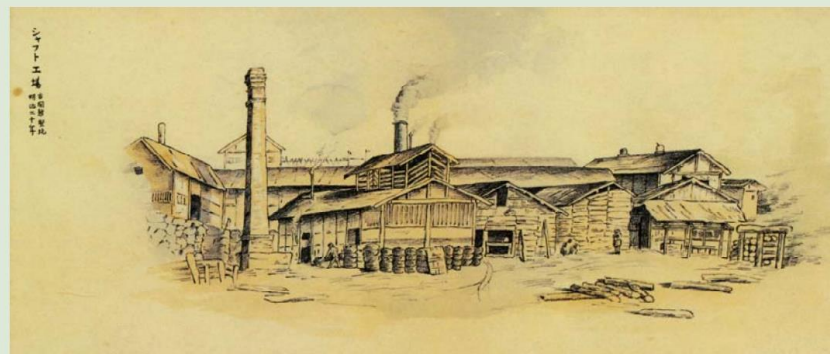
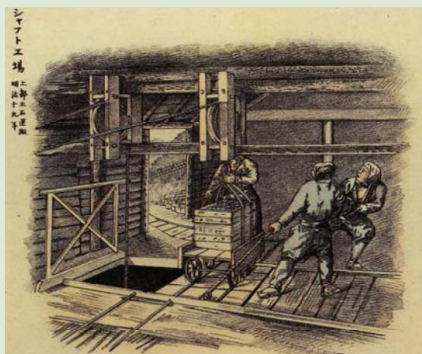
器具▶  
ビール樽のようなものはセメントの樽です。イギリスから輸入したものが多く、大変高価なものでした。

北垣知事は、明治天皇に工事の状況を報告するため、京都府画学校の教員だった田村に絵画の製作を命じ、田村の指導のもと、10名の生徒が製作に当たりました。完成した絵は天皇に献上され、現在も宮内庁の図書寮文庫が所蔵しています。この『琵琶湖疎水工事図巻』は、控えとして残しておくため、田村自身がデッサン調で描いたものといわれています。

ID	分類	番号	副読本名	資料名	備考	西暦	所蔵	URL
262100	水	3	わたしたちの京都(下)	パンフレット「琵琶湖疎水」 ～描かれた疎水工事	疎水工事絵画 田村宗立	1885－ 1887	京都市 上下水道局	削除〔2018年8月参照〕

## 描かれた疎水工事

工事の様子を描いた絵画としては、京都府が画家の河田小龍、田村宗立に描かせた絵画が多数残っています。ここに掲載した絵画は田村宗立が描いたもので、京都市上下水道局が所蔵しています。





ID	分類	番号	副読本名	資料名	備考	西暦	所蔵	URL
262100	水	4	わたしたちの京都(下)	琵琶湖疎水圖誌 3巻	疎水工事絵 画河井小龍	[1890]	京都府立京都学・歴史館	<a href="http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/detail?cls=152_old_books_catalog&amp;pkey=000000098">http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/detail?cls=152_old_books_catalog&amp;pkey=000000098</a>



# 3-4 地域副読本「アーカイブ資料」調査

## ① 書誌情報の不足している資料について調査する

### ・資料名不明（例）

ID	分類	番号	副読本名	資料名	備考	西暦	所蔵	URL
262100	水	1	わたしたちの京都（下）	〔都が東京にうつるときの様子〕	東京奠都	〔1869〕	品川区立品川歴史館	
262100	水	5	わたしたちの京都（下）	〔疏水の完成を祝う〕	祇園祭の鉾	〔1869〕	京都府立京都学・歴彩館	

# 3-4 地域副読本「アーカイブ資料」調査

## ②すでにデジタルアーカイブ化されているものはURLを明記

(副読本に出典明示されていないが)

ID	分類	番号	副読本名	資料名	備考	西暦	所蔵	URL
12231	くらし	1	のびゆく 恵庭	イザリブト番屋の図	松浦武四郎著 『再航蝦夷日誌』	(1846)	恵庭市教育委員会/ カリンバ遺跡と恵庭市 史料 DIGITAL ARCHIVE	<a href="https://adeac.jp/eniwa-city-lib/text-list/d100020/ht000110">https://adeac.jp/eniwa-city-lib/text-list/d100020/ht000110</a>
12231	くらし	2	のびゆく 恵庭	カマカより二嶽眺望の図	松浦武四郎著 『再航蝦夷日誌』	(1846)	恵庭市教育委員会/ カリンバ遺跡と恵庭市 史料 DIGITAL ARCHIVE	<a href="https://adeac.jp/eniwa-city-lib/text-list/d100020/ht000110">https://adeac.jp/eniwa-city-lib/text-list/d100020/ht000110</a>

## ③国立国会図書館デジタルコレクションで提供されているか

ID	分類	番号	副読本名	資料名	備考	西暦	所蔵	URL
291000	木	1	奈良県の くらし 指導書	吉野林業全書:挿画 (杉檜苗)	森庄一郎著 森庄一郎(ほか)	1898	国立国会図 書館	〔デジタルコレクション・個人向け送信サ ービスで閲覧可能〕
291000	木	2	奈良県の くらし 指導書	評伝土倉庄三郎 (桑苗十万本/p36)	土倉祥子著	1966	国立国会図 書館	〔デジタルコレクション・個人向け送信サ ービスで閲覧可能〕
291000	木	3	奈良県の くらし 指導書	吉野林業全書:完全復刻原文・ 原画対照現代語訳付	森庄一郎著 〔原著〕	1983	国立国会図 書館	〔デジタルコレクション・国立国会図書 館内限定〕

## 3-5 期待される効果と 課題

- ◆古い資料が、地域の課題を反映しているのではないか？  
→調査すること自体が課題解決のヒントにつながる
- ◆地域副読本に掲載された資料の原本を確認できる
- ◆ジャパンサーチや国立国会図書館デジタルコレクションの活用に向けたワンステップになる
- 資料がオープンデータでない場合がある
- 資料活用に当たって、児童には支援が必要

# 参考文献

- \*1 大辻彩音, 河本大地「奈良県十津川村における小学校社会科副読本の分析」『次世代教員養成センター研究紀要』(7), 2021, p. 285-290.
- \*2 寺本潔「戦後最初の社会科地域副読本と思われる『わたくしたちの港区』の内容と価値」『玉川大学教育学部紀要』2011, 2012, p.37-46.
- \*3 古岡俊之「小学校社会科副読本の未来像 — 兵庫県における地域副読本の作成・利用状況分析からの考察 —」『神戸女学院大学論集』68(2), 2021, p. 1-15.
- \*4 岡崎均「小学校社会科教科書のデジタル化に関する研究 -教科書の構成ユニットと構造分析に基づく設計理論と事例開発-」兵庫教育大学 博士(学校教育学) 乙第153号, 2020
- \*5 新垣 英司, 稲福 正, 新川 健二 他「沖縄教材デジタルアーカイブの内容と利用」『年会論文集』(29), 2013, p.50-53.
- \*6 久世 均, 齋藤 陽子「デジタル副読本を活用した児童一人ひとりの特性に応じた授業実践: 自治体と連携した地域素材を活用した学習材の開発」『岐阜女子大学紀要』(43), 2014, p. 137-144.
- \*7 東京書籍『マチアルキ実践事例集』, 東京書籍, 2019